

エゾシカとの交通事故に注意！

根室振興局管内では、エゾシカなど野生動物と自動車の衝突事故が多発しています。

エゾシカの成獣雄は100kgを超え、衝突すると大きな被害をもたらします。また、衝突を避けようとハンドルを切り対向車線にはみだしたり、スリップするなど大事故につながる危険もあります。

根室警察署管内では、物損事故の約1割が鹿による事故となっています。

平成25年～28年の物損事故総数	2324件
うち鹿事故発生件数	255件（11%）

エゾシカの習性

○群れで行動することが多い

エゾシカは群れで行動することが多く、一頭のエゾシカが道路を渡り終え、安心してしていると、2頭目、3頭目が渡ってきます。

○舗装道路上では滑りやすい

アスファルト上では、エゾシカの蹄は滑りやすく、転倒することもあります。

○道路沿いの森林はエゾシカの通り道

道路沿いの森林は、エゾシカの通り道になっていることが多いです。

○目が光る

エゾシカの目は、ヘッドライトが反射して光ります。



交通事故に遭わないためには

○スピードダウンを心がける

根室振興局管内では、どの地域でもエゾシカが出没しています。また、市街地においても出没することがあります。常にスピードダウンを心がけることが必要です。

森林に面している道路、動物注意の警戒標識や注意する看板、のぼり旗のあるところは特に多発しています。注意してください。



○秋から冬、日没から夜間、早朝に注意

エゾシカは1年中出没しますが、特に秋から冬にかけて多くなります。また、日没から夜間、早朝に事故が多発していますので、注意してください。

また、夜間に光るものを見たら、スピードダウンをし、注意しましょう。

特に、冬期間の凍結路面における急ハンドル、急ブレーキは大事故につながる危険があります。常にスピードダウンを心がけてください。



○後部座席を含めたシートベルト、チャイルドシートの着用

不幸にも事故に遭った場合、被害を最小限に防ぐのはシートベルトとチャイルドシートです。必ず後部座席を含め正しく着用してください。

北海道根室振興局保健環境部環境生活課